管理医療機器　医薬品・ワクチン用注入器
認証番号　228AABZX00109000

JCR

取扱説明書

グロウジェクター®L

品番 APG-4000

●グロウジェクター Lは、専用製剤グロウジェクト皮下注6mg、または、専用製剤グロウジェクト皮下注12mg及びA型専用注射針を取り付けて使用する、皮下投与用の成長ホルモン専用電動式医薬品注入器です。

●ご使用に際しては、医師等の指示に従い、必ずこの取扱説明書をよく読み、正しく安全にお使いください。また“安全上のご注意”（3～9ページ）も必ずお読みください。

●この取扱説明書は大切に保管してください。

グロウジェクターは、JCRファーマ株式会社の登録商標です。

取扱説明書品番：LDCL005700-4
S0616-4100
LDCL005700-4

もくじ

安全上のご注意 3
■ 禁忌・禁止 3
■ 使用上の注意 3
■ その他の注意 8
お使いになる前に 10
■ グロウジェクターLのセット内容 10
■ 注射する前に用意するもの 11
■ 各部の名称と働き 12
■ グロウジェクターLの充電方法 16
■ ディスプレイの表示内容とボタン操作 17
STEP 1 専用製剤の取り付け 18
STEP 2 先端ユニットの取り付け 20
STEP 3 空気抜き 23
STEP 4 注射 26
STEP 5 注射が終わったら 29
STEP 6 2回目以降の注射準備 32
STEP 7 専用製剤の取りはずし 36
メニュー操作 38
■ 空気抜き 41
■ 注射履歴 43
■ 設定内容確認 44
■ イラスト確認 45
■ 注射残り回数 46
■ 画面設定 47
■ 音設定 49
■ 日時設定 50
■ 薬の強制交換 51
専用製剤使用開始後35日が過ぎた場合 53
その他 54
■ 保守・点検方法 54
■ お手入れ方法 54
■ 保管方法 55
■ 耐用期間及び廃棄に関して 55
お知らせ表示一覧 56
注射部位の選び方（参考） 58
グロウジェクターLについてのQ&A 59
グロウジェクトお客様相談窓口 62
仕様 63
■ 仕様 63
■ 使用している記号の説明 63

安全上のご注意 必ずお守りください

禁忌・禁止

（1）グロウジェクターＬは、グロウジェクト皮下注６mg、または、グロウジェクト皮下注12mg（以下専用製剤という）以外には使用しないでください。
（2）グロウジェクターＬは皮下投与以外の目的には使用しないでください。
（3）グロウジェクターＬ、Ａ型専用注射針及び専用製剤は他の人と共用しないでください。（付着した血液により感染症の原因となるおそれがあります）
（4）一度使用したＡ型専用注射針は再使用しないでください。毎回新しいＡ型専用注射針を使用してください。（付着した血液により感染症の原因となるおそれがあります）
（5）グロウジェクターＬは、専用製剤及び医師等の指示によるＡ型専用注射針との組み合わせ以外では使用しないでください。（他の製剤及び注射針を使用した場合の精度は確認していません）
（6）専用製剤を入れた先端ユニットのみ冷蔵庫に保存し、グロウジェクターＬの本体は冷蔵庫に入れないでください。（結露するおそれがあります）

使用上の注意

（1）必ずこの取扱説明書を熟読してご使用ください。
（2）ご使用や投与に関しては、必ず医師等の指示に従ってください。
（3）投与量は医師により設定されていますので、使用するときに投与量を設定する必要はありません。
投与量の変更に関して医師の指示がある場合は、医師の指示に従って、確実に変更してください。
（4）破損したグロウジェクターＬは使用しないでください。
（5）グロウジェクターＬを操作するときは、針先をのぞきこんだり、人のいる方向に向けたりしないでください。（薬液が目に入るおそれがあります）
（6）グロウジェクターＬの取り扱い（操作）が容易でない方（小児や弱視の方等）は、グロウジェクターＬの操作方法の訓練を受けた方の手助けを受けてください。

使用上の注意

(7) 必ず医師等の指示によるＡ型専用注射針のみ使用してください。

(8) グロウジェクターＬとＡ型専用注射針を取り付けた専用製剤の使用中に薬液が漏れ出た等の不具合が認められた場合には、新しいＡ型専用注射針と専用製剤に取り替えてください。（正しく投与できないおそれがあります）

(9) 取り扱い時は、針先に直接触れないでください。（針刺し事故になるおそれがあります）

(10) 使用後のＡ型専用注射針は、先端ユニットを取りはずす前に必ず針ケースを取り付けてください。その際、針キャップは取り付けないでください。（針刺し事故になるおそれがあります）

(11) 使用後のＡ型専用注射針と消毒用アルコール綿は、医師等の指示に従って安全に廃棄してください。（付着した血液により感染症の原因となるおそれがあります）

(12) Ａ型専用注射針の保護シールが破損している場合は使用しないでください。（感染症の原因となるおそれがあります）

(13) 曲がった注射針は使用しないでください。（曲がった状態で、または曲がった注射針を元に戻してから注射すると、針が折れ、体内に残留してしまうおそれがあります）

(14) 専用製剤がひび割れ等破損していたり、専用製剤内に浮遊物がみられたりした場合には使用しないでください。

(15) 専用製剤の使用期限は、専用製剤交換後最初の空気抜きを行った日から35日です。35日を過ぎるとエラーが表示され使用できません。

(16) 専用製剤のラベルに記載された使用期限を過ぎたものは使用しないでください。

(17) 使用中の専用製剤以外は取り付けないでください。（専用製剤を交換するときを除く）誤って他の専用製剤を取り付けると、薬液が漏れ出たり、投与量が不正確になったりするおそれがあります。

(18) 投与量、ディスプレイの表示内容または操作等に疑問が生じたら使用せず、医師等に相談してください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■**誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **危険**	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■**お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**（図記号は例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

禁止	●**内蔵の充電池は、本製品専用の充電式電池です。解体し本製品以外に使用しない。** ●**火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。** 発熱・発火・破裂の原因となります。	禁止	●**専用充電台は本製品専用の充電器です。本製品以外の充電には使用しない。** 電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。 ●**付属の専用ACアダプタ以外は使用しない。** 火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

禁　止

●**接続端子・DCコード・アダプタ本体・電源プラグを破損するようなことはしない。**
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる　など）
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●**内蔵の充電池から電解液が漏れている場合には電解液に触れない。**
電解液が目に入ったとき失明のおそれがあります。

●**コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない。**
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

●**専用充電台の中に、硬貨や指輪などの金属物を入れない。**
感電・ショート・火災の原因となります。

ぬれ手禁止

●**ぬれた手で、専用ACアダプタの抜き差しはしない。**
感電の原因となります。

水ぬれ禁止

●**ぬらさない。**
発火・感電の原因となります。

分解禁止

●**絶対に分解や修理・改造をしない。**
内部にさわると感電の原因となります。

接触禁止

●**雷がなりだしたら、コンセントに接続している専用ACアダプタ、専用充電台、本製品には触れない。**
感電の原因となります。

必ず守る

●**長期間使用しないときは、アダプタ本体をコンセントから抜く。**

●**電源プラグのほこり等は定期的にとる。**
電源プラグにほこり等がたまると、湿度等で絶縁不良となり、火災の原因となります。
アダプタ本体を抜き、電源プラグを乾いた布で拭いてください。

●**電源プラグは根元まで確実に差し込む。**
差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグを抜く

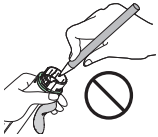
●**煙が出たり、こげ臭いにおいや音がしたりしたら、アダプタ本体をコンセントから抜く。**

●**内部に水や異物が入ったときや外装ケースが破損したときは、使用をやめアダプタ本体をコンセントから抜く。**
そのまま使用すると、ショート・発火の原因となります。

⚠ 注意

禁　止	**●本製品や専用充電台を不安定な場所に置かない。** 落下などにより、けがの原因となります。	必ず守る	**●コンセントから抜くときは必ずアダプタ本体を持って抜く。** DCコードが破損すると、感電の原因となります。
		電源プラグを抜く	**●お手入れの際は、本製品の電源を切り、安全のためアダプタ本体をコンセントから抜く。** 感電の原因となります。

その他の注意



(1) 落としたり、乱暴に扱ったりしないでください。破損することがあります。

(2) ピストンを無理に押したり、本体を分解や改造をしたりしないでください。本体が破損することがあります。

(3) グロウジェクター Lの耐用期間は、医療機関で行った初回設定の日から3年です。交換時期が近づいて来ましたら医師に相談してください。

(4) 耐用期間が過ぎた場合や、使用を中止する場合は、専用充電台や専用ACアダプタ等を含めグロウジェクター L一式を医療機関に返却する等、医師等の指示に従ってください。

(5) EMC（電磁両立性）規格JIS T 0601-1-2：2012に適合しています。電子レンジ、携帯電話等、電磁波が発生する電子機器の近くでは操作しないでください。内部の装置が正常に動作しないおそれがあります。

(6) グロウジェクター L、専用充電台及び専用ACアダプタを、水等の液体でぬらさないでください。空気抜きや注射により、漏れた薬液は、乾いた布等で拭き取ってください。

(7) 洗浄や消毒のために、水洗いをしたり、消毒薬等の液体に浸したりしないでください。本体内部に液体が浸入した場合、故障するおそれがあります。

(8) グロウジェクター Lは日本国内専用のため、海外では使用しないでください。

(9) グロウジェクター Lが正常な動作をしなくなった場合は使用を中止し、医師等に相談してください。

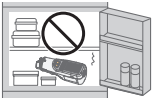
(10) 子供や他の人の手の届かない場所に保管してください。

(11) 使用していない専用製剤は包装箱に入れたままの状態で、冷蔵庫の凍結しない場所に保存してください。

その他の注意

(12) 注射後の専用製剤は、注射針を取りはずした後、先端ユニットに入れたまま冷蔵保存ケースに入れて、冷蔵庫の凍結しない場所に保存してください。

(13) グロウジェクター Lの本体は、専用充電台にセットして、一般的な生活環境（温度：10 ℃～40 ℃、但し10 ℃～35 ℃以外では充電できません）の清潔な場所に保管してください。
直射日光の当たる場所や車内等の高温になるおそれのある場所、冷蔵庫や凍結するおそれのある低温の場所、ほこりや湯気が当たる場所には保管しないでください。



(14) 注射後、使い終わったA型専用注射針を取り付けたままで保存しないでください。

(15) 次回の使用に支障のないように、グロウジェクター Lは必ず清潔にしておいてください。汚れたときは“お手入れ方法”（54ページ）に従いお手入れを行ってください。

(16) “保守・点検方法”（54ページ）に従い保守・点検事項を行ってください。

(17) 本体と先端ユニットを無理やり取りはずさないでください。必ず先端ユニットを止まるまで回した後、先端ユニットを取りはずしてください。

(18) 先端ユニットのキャップを開いた際に、キャップを強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。

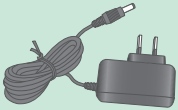
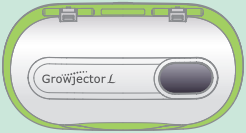
(19) 薬液が目や皮膚に付着した場合は、ただちに水で洗い流してください。洗い流した後、違和感等があれば医師に相談してください。

ご不明な点は、
“グロウジェクトお客様相談窓口”
（フリーコール：0800-888-4001）（62ページ）まで
お問い合わせください。

お使いになる前に

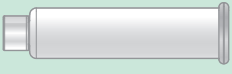
■グロウジェクター Lのセット内容

本製品がお手元に届きましたら、セット内容を確認してください。☑✍

□ グロウジェクター L … 1	□ 専用ACアダプタ … 1 
□ 専用充電台 … 1 	□ 取扱説明書（本書）… 1
□ 冷蔵保存ケース … 1	□ 添付文書 … 1

■注射する前に用意するもの

グロウジェクト皮下注6mg
または
グロウジェクト皮下注12mg
※本文中では専用製剤と記載します。



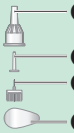
消毒用アルコール綿

A型専用注射針
※本文中では注射針と記載します。

※医師等の指示によるA型専用注射針を使用してください。

■各部の名称と働き

A型専用注射針

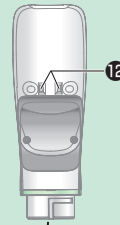


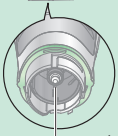
グロウジェクターL

【本体】

（表側）

（裏側）





専用製剤

【先端ユニット】

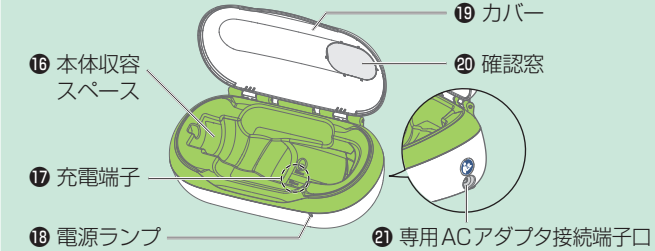
A型専用注射針　※ 使用する注射針により名称が異なる場合があります。

名称		働き
❶	針ケース	• A型専用注射針の保護ケースです。 • 取り付け/取りはずしのときに持って使用します。
❷	針キャップ	• 針先を保護するキャップです。
❸	注射針（針先）	• 針先から空気や薬液が出ます。
❹	保護シール	• 使用前の注射針を清潔に保ちます。

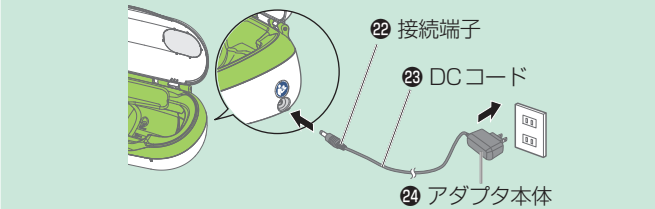
グロウジェクター L

名称		働き
❺	電源ボタン	• グロウジェクター Lの電源の入/切ができます。
❻	選択ボタン	•「メニュー長押」表示がある画面で左側の選択ボタンを長押しすると、メニュー画面に入ります。 • 各メニュー画面で、項目を選択したり、数値を入力したりするときに使用します。
❼	決定ボタン	• 画面表示に合わせて、確認や決定、戻るときに使用します。
❽	注射ボタン	• 空気抜きや注射をするときに使用します。長押しすると、注射針が先端ユニットの先端部から出て、空気や薬液が押し出されます。
❾	本体ランプ	• グロウジェクター Lの状態をお知らせします。 • 充電中：黄緑色点灯（充電が完了すると消灯します） • 空気抜き中、注射中：黄緑色点滅
❿	光通信部（受光部）	• 医療機関で使う専用入力装置のデータを受信するための部分です。
⓫	ディスプレイ	• 操作手順を表示します。 • お知らせ内容やエラーが発生した場合に表示します。詳しい表示内容は、“お知らせ表示一覧”（56ページ）をご参照ください。
⓬	充電端子	• 専用充電台にセットしたとき、専用充電台の充電端子と接触する部分です。
⓭	先端ユニット	• 注射針と専用製剤を保護します。 • 注射時に先端部を注射部位に押し当てます。
⓮	キャップ	• 専用製剤を先端ユニットに取り付けるときに開閉します。
⓯	確認窓	• 取り付けた専用製剤を確認することができます。

専用充電台



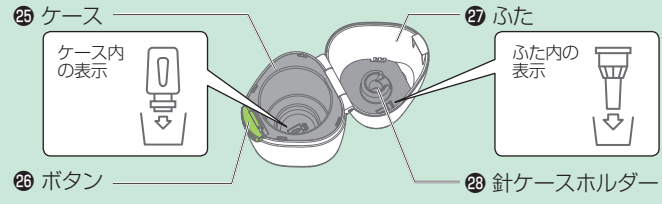
専用ACアダプタ



注 意

付属の専用ACアダプタ以外は使用しないでください。

冷蔵保存ケース



専用充電台

	名称	働き
⑯	本体収容スペース	• 充電や保管をするときに、本体をここにセットします。
⑰	充電端子	• 本体をセットしたとき、本体の充電端子と接触する部分です。
⑱	電源ランプ	• 電源が供給されているときに点灯します。 通電中：黄緑色点灯
⑲	カバー	• 専用充電台のカバーです。
⑳	確認窓	• 専用充電台のカバーを閉じた状態で、本体ランプの状態を確認することができます。
㉑	専用ACアダプタ接続端子口	• 本体を充電するときに、専用ACアダプタの接続端子を接続します。

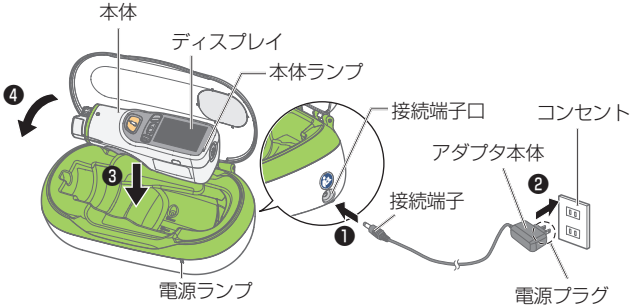
専用ACアダプタ

	名称	働き
㉒	接続端子	• 専用充電台の専用ACアダプタ接続端子口に接続します。
㉓	DCコード	• 専用ACアダプタのコードです。
㉔	アダプタ本体	• 充電するときに、コンセントに接続します。

冷蔵保存ケース

	名称	働き
㉕	ケース	• 注射針の取り付け、取りはずしをするときに使用します。 • 注射後に取りはずした先端ユニットを入れます。
㉖	ボタン	• ふたを開くときに押します。
㉗	ふた	• 冷蔵保存ケースのふたです。
㉘	針ケースホルダー	• 注射前に取りはずした針ケースを置きます。 • 注射後に針ケースを注射針に取り付けるときに使用します。

■グロウジェクター Lの充電方法



専用充電台　　**専用ACアダプタ**

専用充電台を安定した場所に置いて行います。

❶ 専用充電台の接続端子口と専用ACアダプタの接続端子を接続します。

❷ アダプタ本体をコンセントに接続します。その際に専用充電台の電源ランプが点灯（黄緑色）することを確認します。

❸ 本体の電源を切り、ディスプレイを上に向けて本体収容スペースにセットします。その際に本体ランプが点灯（黄緑色）することを必ず確認します。
充電が完了すると本体ランプのみ消灯します。なお、すでに十分充電されている場合は、すぐに消灯します。

❹ 充電中はカバーを閉じます。

注 意

- **アダプタ本体をコンセントから抜く操作の妨げにならない場所で使用してください。**
- **使用後は必ず充電してください。**
- **充電は10℃～35℃で行ってください。それ以外の温度では充電できない場合があります。**
- **「⚠ 充電不足です」が表示された状態から満充電になるまでにおよそ2時間かかります。**
  2時間以上経っても本体ランプが消灯しない場合は部屋の温度を確認してください。

■ディスプレイの表示内容とボタン操作

本体のディスプレイに操作手順やお知らせ内容を表示します。

- 本体を操作するときは、ディスプレイに表示された文字の方向に合わせて、本体を持って操作を行います。
- ボタン操作は、ディスプレイのボタン表示に対応する本体のボタンを押します。
- ボタン表示は、その操作手順で使用できるボタンを濃い色（続行 完了）使用できないボタンを薄い色（▲）で表示しています。
- 注射ボタンが使用できるときはディスプレイに注射ボタンマーク が表示されます。
- ディスプレイ右上の電池マーク は電池の残量を示しています。
  残量が少量を示しているとき（ ）は、使用後に必ず充電してください。
- ディスプレイ左上の製剤マーク は製剤の残量を示しています。

（例）

- 背景色を、自分の好みの色に変更することができます。変更するときは、**“メニュー操作（画面設定：（1）背景色を変更する場合）”（47ページ）**をご参照ください。
  背景色の変更により、電源を入れたときのスタートアップ画面も変更されます。
  （背景色の初期設定は、「ブルー」です）

（例）「ブルー」のスタートアップ画面

- お知らせ内容やエラーが発生した場合に、ディスプレイにその内容を表示します。「内容と対応」を確認し、操作してください。また正しく操作しても動作しない場合は、**“グロウジェクトお客様相談窓口”（フリーコール：0800-888-4001）（62ページ）**までご連絡ください。

（例）

表示	内容と対応
	充電不足です。 ➡ 電源ボタン⏻を押して電源を切った後、**“グロウジェクター L の充電方法”（16ページ）**をご参照のうえ、ただちに専用充電台にセットして充電してください。充電不足のときは電源ボタン⏻のみ使用でき、注射操作はできません。

STEP 1 専用製剤の取り付け

先端ユニットに新しい専用製剤を取り付けます。

注射の前に

専用製剤は、注射をするおよそ30分前に冷蔵庫から取り出し、室温に戻してください。

1 本体の中央部分を持ち、専用充電台より取りはずし、本体の電源ボタン⏻を、ディスプレイが点灯するまで長押しして電源を入れます。
スタートアップ画面が表示され起動します。

ディスプレイに「新しい薬を取付けます」と表示されます。

こんなとき

表示	内容と対応
	充電不足です。 ➡ 電源ボタン⏻を押して電源を切った後、"グロウジェクター L の充電方法"（16ページ）をご参照のうえ、ただちに専用充電台にセットして充電してください。充電不足のときは電源ボタン⏻のみ使用でき、注射操作はできません。

2 ディスプレイに表示されている専用製剤のイラストと準備した専用製剤が同じものか確認します。

「グロウジェクト皮下注6mg」（ブルー色のラベル）
「グロウジェクト皮下注12mg」（オレンジ色のラベル）

注意

専用製剤がひび割れ等破損している場合は使用しないでください。

こんなとき

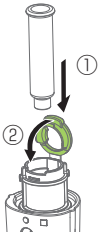
準備した専用製剤と表示された専用製剤が違う場合は、医療機関に連絡してください。

3 専用製剤の先端部ゴム栓を消毒用アルコール綿で拭きます。

拭き取り後は、消毒したところに触れないように気を付けます。

4 先端ユニットの緑色のキャップのつまみ部を矢印①の方向に押しながら、②の方向に押し上げて開きます。

5 専用製剤の先端部ゴム栓を下に向けて矢印①の方向に挿入し、つまみ部を矢印②の方向に押し下げて閉めます。



6 先端ユニットに専用製剤を取り付けたら 完了 (決定ボタン)を押します。

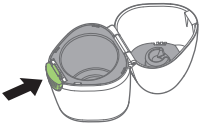
ディスプレイが「先端ユニットを取付けます」に切り替わります。

▼

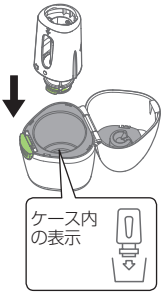
STEP2 先端ユニットの取り付け

注射針を取り付けた後、先端ユニットを本体に取り付けます。

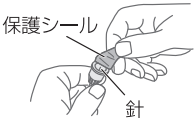
1 冷蔵保存ケースの緑色のボタンを矢印の方向に押してふたを開き、安定した机の上に置きます。



2 冷蔵保存ケースの緑色のボタンのあるケース側に、先端ユニットの緑色のキャップ側を下に向けて、矢印の方向に入れます。



3 注射針の保護シールをはがします。
このとき針に触れないように十分気を付けます。

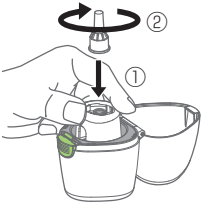


注 意

- **針刺し事故に十分気を付けてください。**
- **注射針の保護シールが破損している場合は使用しないでください。**
- **注射は毎回新しい注射針を使用し、再使用は絶対にしないでください。**
- **曲がった注射針は絶対に使用しないでください。**

4 先端ユニットに注射針を取り付けます。

先端ユニットを下に押さえながら、
注射針を矢印①の方向にまっすぐ押し入れ、
矢印②の方向に回してしっかりと取り付けます。



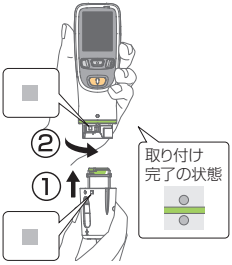
注 意

注射針の取り付けが不十分な場合、注射できないおそれがあります。

5 次に、本体に先端ユニットを取り付けます。

先端ユニットの緑色のキャップ側を本体に向けて、先端ユニットの■印と本体の■印が合うように矢印①の方向に奥まで差し込んだ後、●印と●印が合うまで矢印②の方向に回して、取り付けます。

正しい位置に取り付けると、
ディスプレイが「針ケースを取外します」
に切り替わります。



こんなとき

表示	内容と対応
	先端ユニットに専用製剤が正しく取り付けられていません。 ➡ 再度取り付け直してください。

6 針ケースをまっすぐ引っ張り、取りはずします。取りはずした針ケースは、注射後に使いますので、冷蔵保存ケースの針ケースホルダーに針ケースの細い方を下に向けて置きます。

7 次に針キャップをまっすぐ引っ張り、取りはずします。

取りはずした針キャップは、廃棄します。

注 意

- **針キャップを取りはずすときに、針刺し事故に十分気を付けてください。**
- **曲がった注射針は絶対に使用しないでください。**

8 針ケースと針キャップを取りはずしたら、完了（決定ボタン）を押します。ディスプレイが「空気抜きを開始します」に切り替わります。

STEP3 空気抜き

専用製剤内にある空気（気泡）を抜きます。

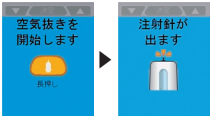
注 意

先端ユニットを回すと注射針が出ます。

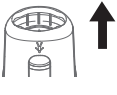
- **注射が終わるまで先端ユニットを取りはずさないでください。**
- **注射針の交換等で、先端ユニットを取りはずすときは、必ず針ケースを取り付けてから行ってください。**

1 注射針側を上に向けて、専用製剤内の空気が注射針側に集まるようにします。
（小さな気泡が専用製剤内の壁面に残っていても問題ありません）

2 注射針側を上に向けたまま、本体が動作するまで注射ボタン を**長押し**します。
ディスプレイが「注射針が出ます」に切り替わります。



注射針が先端ユニットの先端部から出て、空気と薬液が押し出されます。



注 意

- **針刺し事故に十分気を付けてください。**
- **先端ユニットの中を上からのぞきこまないでください。注射針や薬液が出てきます。**

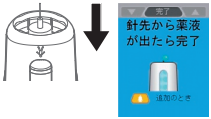
STEP3　空気抜き（つづき）

こんなとき

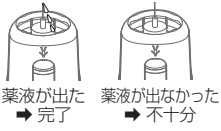
表示	内容と対応
薬の装着を確認しましょう	先端ユニットに専用製剤が正しく取り付けられていません。 ➡ 再度取り付け直してください。 注射針が取り付けられている場合は、針ケースが取り付けられていることを確認してから、操作を行ってください。
先端ユニットの装着を確認しましょう	先端ユニットが正しく取り付けられていません。 ➡ 再度取り付け直してください。
完了 注射針を確認しましょう	注射針の針つまりや、注射針が正しく取り付けられていない可能性があります。 ➡ 完了（決定ボタン）を押した後、**“STEP 5　注射が終わった5”（29ページ）**をご参照のうえ、注射針を取りはずし、新しい注射針に交換して、再度空気抜きを行ってください。
了解 警告〈注射針〉 注射針が戻りませんでした	空気抜き時に、正常に注射針が出ませんでした。 ➡ 了解（決定ボタン）を押した後、電源ボタンを押して電源を切ると解除されます。電源を入れ直し、再度空気抜きを行ってください。
	空気抜き時に、正常に注射針が戻りませんでした。 ➡ 了解（決定ボタン）を押すと「お待ちください」に切り替わります。電源ボタンを押して電源を切った後、もう一度電源ボタンを押して注射針が正常な位置に戻ったことを確認します。空気抜きは完了していますので、**“STEP 4　注射”（26ページ）**に進みます。 空気抜きが不十分な場合は、**“メニュー操作（空気抜き）”（41ページ）**をご参照のうえ、空気抜きを行ってください。

3 空気抜きを行っている間、ディスプレイに「空気抜き中」と表示され、注射針が出た状態で本体ランプが点滅（黄緑色）します。

4 終了すると、先端ユニットの先端部から出ていた注射針が引っ込み、ディスプレイが「針先から薬液が出たら完了」に切り替わります。



5 針先から薬液が出たら完了です。
完了（決定ボタン）を押します。



注 意

- **空気抜きが不十分な場合、投与量に影響することがあります。**
- **注射針側を上に向けて空気抜きを行わないと、空気がうまく抜けないことがあります。**
- **薬液が目や皮膚に付着した場合は、ただちに水で洗い流してください。洗い流した後、違和感等があれば医師に相談してください。**
- **薬液が先端ユニットのまわりに付着した場合は、注射が終わって注射針を取りはずした後、清潔な乾いた布等で拭き取ってください。**

こんなとき

針先から薬液が出なかった場合は、専用製剤内の空気が注射針側に集まるよう指先で軽くたたいた後、注射ボタンを**長押し**し、再度空気抜きを行います。針先から薬液が出た場合は 完了（決定ボタン）を押します。空気抜きは、専用製剤交換後８回まで行うことができます。（空気抜きを追加で行っても、１本の専用製剤で注射できる量が減ることはありません）

表示	内容と対応
	空気抜き回数が８回を超えたので、空気抜き動作が停止しました。 ➡ 了解（決定ボタン）を押すと、ディスプレイが「薬の準備が終わりました」に切り替わります。 空気抜き回数が８回を超えても、空気抜きが不十分な場合は、**“グロウジェクトお客様相談窓口”（フリーコール：0800-888-4001）****（62ページ）**までご連絡ください。

6 ディスプレイが「薬の準備が終わりました」から、「注射できます　残り：○回」に切り替わります。

STEP4 注射

本体の準備が完了したので、注射を行います。
注射部位は医師等の指示に従い、**“注射部位の選び方（参考）”（58ページ）**をご参照ください。

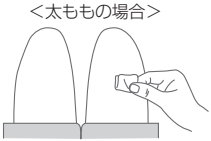
注 意

先端ユニットを回すと注射針が出ます。

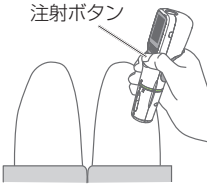
- **注射が終わるまで先端ユニットを取りはずさないでください。**
- **注射針の交換等で、先端ユニットを取りはずすときは、必ず針ケースを取り付けてから行ってください。**

1 注射部位を消毒用アルコール綿で拭きます。

注射が終わるまで注射部位には触れないようにします。



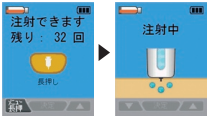
2 ディスプレイが見えるように本体を握ります。注射部位に先端ユニットの先端部を垂直に押し当て、本体が動作するまで注射ボタン を**長押し**します。



注 意

- **注射するとき以外は注射ボタン を押さないでください。**
- **注射部位に先端ユニットの先端部を強く押し当て過ぎないでください。**

3 ディスプレイが「注射できます」から「注射中」に切り替わるとともに、注射針が自動で注射部位に刺さり、本体ランプが点滅（黄緑色）し薬液が自動で注入されます。



注 意

注射中は本体を動かさないでください。

こんなとき

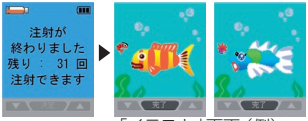
表示	内容と対応
⚠ 薬の装着を確認しましょう	先端ユニットに専用製剤が正しく取り付けられていません。 ➡ 再度取り付け直してください。 注射針が取り付けられている場合は、針ケースが取り付けられていることを確認してから、操作を行ってください。
⚠ 先端ユニットの装着を確認しましょう	先端ユニットが正しく取り付けられていません。 ➡ 再度取り付け直してください。
⚠ 注射針を確認しましょう 完了	注射針の針つまりや、注射針が正しく取り付けられていない可能性があります。 ➡ 完了（決定ボタン）を押した後、“STEP 5 注射が終わったら”（29ページ）をご参照のうえ、注射針を取りはずし、新しい注射針に交換して、再度注射を行ってください。
⚠ 正常に注射針が刺さりませんでした 了解	正常に注射針が刺さりませんでした。 ➡ 了解（決定ボタン）を押した後、電源ボタン⏻を押して電源を切ると解除されます。薬液は出ていませんので、針ケースや針キャップが取り付けられたままになっていないか等を確認し、再度注射を行ってください。
⚠ 警告〈注射針〉 注射針が抜けませんでした 了解	正常に注射針が抜けませんでした。 ➡ 本体を注射部位からゆっくり離してください。このとき先端ユニットの先端部から針先が出ていますので、針刺し事故に十分気を付けて以下の操作を行います。 了解（決定ボタン）を押すと、「お待ちください」に切り替わります。電源ボタン⏻を押して電源を切った後、もう一度電源ボタン⏻を押して注射針が正常な位置に戻ったことを確認します。その後電源を切り、“STEP 5 注射が終わったら”（29ページ）をご参照のうえ、注射針を取りはずしてください。

4 注射が終了したら本体ランプが消え、注射部位から自動的に注射針が抜かれます。
ディスプレイに「注射が終わりました
残り：○回注射できます」と表示されますので、本体を注射部位から離します。
注射部位は消毒用アルコール綿で軽く押さえます。

こんなとき

- 注射後、針先や注射した場所に少量の薬液が付いていることがありますが、注射量には影響ありません。
- **専用製剤１本分の最後の注射が終わる**と
ディスプレイが「注射が終わりました」画面に続いて、「薬がなくなりました　お待ちください」に切り替わります。
操作を行わず、そのままお待ちください。
➡ **"STEP 7　専用製剤の取りはずし"（36ページ）**をご参照のうえ、専用製剤を取りはずしてください。

- 「注射が終わりました」画面に続いて、お楽しみイラストを表示することができます。
イラストを表示するときは、**"メニュー操作（画面設定：(2) イラストを変更する場合）"（48ページ）**をご参照のうえ、変更してください。
「イラスト」画面は、注射する毎に１コマずつランダムに変化して６～７回で完成します。（2時間以内に再度注射をした場合は変化しません）



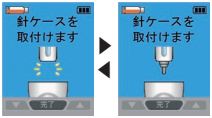
「イラスト」画面（例）

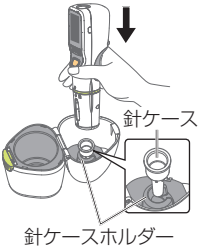
- 「イラスト」画面で 完了 （決定ボタン）を押すと、イラストをスキップすることができます。

STEP5 注射が終わったら

先端ユニット内の注射針に針ケースを取り付け、本体と先端ユニットを取りはずします。その後注射針を取りはずし、本体と専用製剤を保管します。

1 ディスプレイが「針ケースを取付けます」に切り替わります。
冷蔵保存ケースの針ケースホルダーに置いた針ケースに、先端ユニットをしっかりと差し込みます。



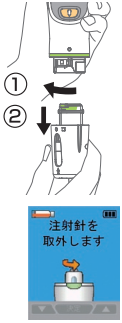


注 意

- **針刺し事故に十分気を付けてください。**
- **手で注射針に直接針ケースを取り付けないでください。**
- **冷蔵保存ケースを安定した机の上に置いて行ってください。**

2 針ケースを取り付けたら、完了（決定ボタン）を押します。
ディスプレイが「先端ユニットを取外します」に切り替わります。

3 先端ユニットを矢印①の方向に止まるまで回した後、矢印②の方向に取りはずします。
ディスプレイが「注射針を取外します」に切り替わります。



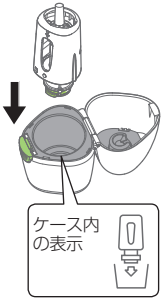
注 意

先端ユニットを回すと注射針が出ます。
先端ユニットを取りはずす前に、針ケースを取り付けたことを必ず確認してください。

こんなとき

表示	内容と対応
⚠ 先端ユニットの装着を確認しましょう	針ケース取り付け確認の 完了 （決定ボタン）を押さずに先端ユニットが回されています。 ➡ 取りはずした先端ユニットを取り付け、針ケースの取り付けを確認し、 完了 （決定ボタン）を押してください。
⚠ 薬の装着を確認しましょう	針ケース取り付け確認の 完了 （決定ボタン）を押さずに先端ユニットが回され、専用製剤が取りはずされています。 ➡ 取りはずした専用製剤、先端ユニットを取り付け、針ケースの取り付けを確認し、 完了 （決定ボタン）を押してください。

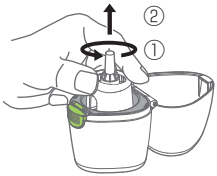
4 冷蔵保存ケースの緑色のボタンのあるケース側に、先端ユニットの緑色のキャップ側を下に向けて、矢印の方向に入れます。



5 先端ユニットから注射針を取りはずします。

先端ユニットを下に押さえながら、針ケースを矢印①の方向に十分に回した後、注射針を矢印②の方向に取りはずします。

使用済みの注射針は、医師等の指示に従って安全に廃棄します。



注 意

- 使用済みの注射針は、感染症の原因となるおそれがありますので、医師等の指示に従って安全に廃棄してください。
- 針刺し事故に十分気を付けてください。
- 専用製剤のまわりに薬液が付着した場合は、注射が終わって注射針を取りはずした後、清潔な乾いた布等で拭き取ってください。薬液が本体内に入ると故障のおそれがあります。

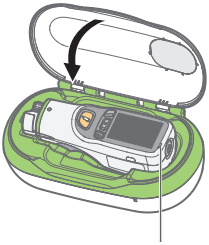
6 先端ユニットを入れたまま、冷蔵保存ケースのふたを閉めて、冷蔵庫に保存します。

7 ディスプレイに「薬の使用期限 ⏻ 電源オフ」が表示されます。
使用期限を確認し本体の電源ボタン ⏻ を押すと、電源が切れます。

電源ボタン

8 本体の電源を切った状態で専用充電台にセットし、カバーを閉じます。

充電台にセットすると、本体ランプが点灯（黄緑色）することを確認します。
なお、すでに十分充電されている場合はすぐに消灯します。



STEP6 2回目以降の注射準備

先端ユニットに注射針を取り付けた後、本体に取り付けます。

注射の前に

専用製剤は、注射をするおよそ30分前に冷蔵庫から取り出し、室温に戻してください。

1 本体の中央部分を持ち、専用充電台より取りはずし、本体の電源ボタンを、ディスプレイが点灯するまで長押しして電源を入れます。
スタートアップ画面が表示され起動します。

ディスプレイに「先端ユニットを取付けます」と表示されます。

こんなとき

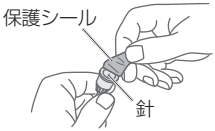
表示	内容と対応
	専用製剤の使用期限は、専用製剤交換後最初の空気抜きを行った日から35日です。 ➡ 専用製剤の残量にかかわらず、**“専用製剤使用開始後35日が過ぎた場合”（53ページ）**をご参照のうえ、新しい専用製剤に交換してください。

2 冷蔵保存ケースの緑色のボタンを矢印の方向に押してふたを開き、安定した机の上に置きます。

3 先端ユニットの先端部から注射針の装着部が出るように、先端ユニットを下に押さえながら、注射針の装着部を消毒用アルコール綿で拭きます。

拭き取り後は、消毒したところに触れないように気を付けます。

4 注射針の保護シールをはがします。
このとき針に触れないように十分気を付けます。

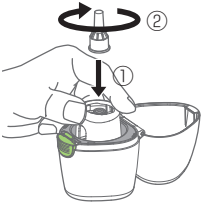


注 意

- **針刺し事故に十分気を付けてください。**
- **注射針の保護シールが破損している場合は使用しないでください。**
- **注射は毎回新しい注射針を使用し、再使用は絶対にしないでください。**
- **曲がった注射針は絶対に使用しないでください。**

5 先端ユニットに注射針を取り付けます。

先端ユニットを下に押さえながら、
注射針を矢印①の方向にまっすぐ押し入れ、
矢印②の方向に回してしっかりと取り付けます。

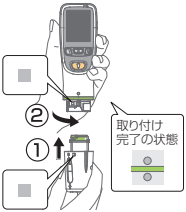


注 意

注射針の取り付けが不十分な場合、注射できないおそれがあります。

6 次に、本体に先端ユニットを取り付けます。

先端ユニットの緑色のキャップ側を本体に向けて、先端ユニットの■印と本体の■印が合うように矢印①の方向に奥まで差し込んだ後、●印と●印が合うまで矢印②の方向に回して、取り付けます。



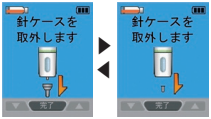
こんなとき

表示	内容と対応
	先端ユニットに専用製剤が正しく取り付けられていません。 ➡ 再度取り付け直してください。

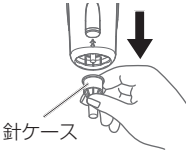
STEP6　2回目以降の注射準備（つづき）

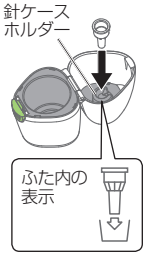
7 本体に先端ユニットを正しい位置に取り付けると、ディスプレイが「準備中です」に切り替わります。
ピストンが動作し、本体の注射の準備を行います。

8 本体の準備が終わると、ディスプレイが「針ケースを取外します」に切り替わります。



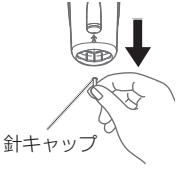
9 針ケースをまっすぐ引っ張り、取りはずします。取りはずした針ケースは、注射後に使いますので、冷蔵保存ケースの針ケースホルダーに針ケースの細い方を下に向けて置きます。





10 次に針キャップをまっすぐ引っ張り、取りはずします。

取りはずした針キャップは、廃棄します。



注 意

- **針キャップを取りはずすときに、針刺し事故に十分気を付けてください。**
- **曲がった注射針は絶対に使用しないでください。**

11 針ケースと針キャップを取りはずしたら、完了（決定ボタン）を押します。ディスプレイが「注射できます　残り：○回」に切り替わります。

“STEP 4 注射”（26ページ）に戻り、注射を行います。
注射後は、**“STEP 5 注射が終わったら”（29ページ）**に進み、先端ユニットと注射針を取りはずします。

こんなとき

- 専用製剤内に空気が残っている場合は、空気抜きを行うことができます。
  空気抜きは、専用製剤交換後８回まで行うことができます。（空気抜きを追加で行っても、１本の専用製剤で注射できる量が減ることはありません）
  空気抜きを行うときは、**“メニュー操作（空気抜き）”（41ページ）**をご参照のうえ、空気抜きを行ってください。
- 空気抜き後は、**“STEP 4 注射”（26ページ）**に戻り、注射を行います。注射後は、**“STEP 5 注射が終わったら”（29ページ）**に進み、先端ユニットと注射針を取りはずします。

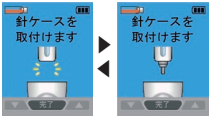
STEP7 専用製剤の取りはずし

先端ユニットから使用済みの専用製剤を取りはずします。

1 専用製剤１本分の最後の注射が終わると、ディスプレイが「注射が終わりました」画面に続いて、「薬がなくなりました　お待ちください」に切り替わり、ピストンのリセットが始まります。

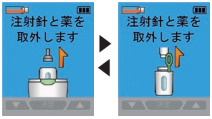
リセット中は、先端ユニットと専用製剤を取りはずす等の操作を行わず、そのままお待ちください。

2 ピストンのリセットが完了したら「針ケースを取付けます」に切り替わります。



3 “STEP 5　注射が終わったら”（29ページ）をご参照のうえ、先端ユニットと注射針の取りはずしを行います。

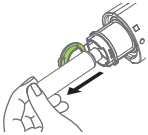
4 ディスプレイが「注射針と薬を取外します」に切り替わります。



先端ユニットの緑色のキャップのつまみ部を矢印①の方向に押しながら、②の方向に押し上げて開きます。

先端ユニットを傾けて、使用済みの専用製剤を滑り出すようにして取り出します。

使用済みの専用製剤と注射針は、医師等の指示に従って安全に廃棄します。



こんなとき

表示	内容と対応
	正常にピストンのリセットが完了しませんでした。 ➡ ピストン周辺にゴミなどが挟まっていないか確認してください。 完了（決定ボタン）を押すと、ピストンのリセットが再開します。

5 本体の電源ボタン⏻を押して電源を切った後、本体を専用充電台にセットして保管します。
先端ユニットはキャップを閉めて、冷蔵保存ケースに入れて、冷蔵庫に保存します。

次回注射時

次回注射するときは、**“STEP 1　専用製剤の取り付け”（18ページ）**に戻ります。

メニュー操作

メニューの操作をすることにより、空気抜き、履歴確認や画面設定などを行うことができます。

1 本体の電源ボタン を、ディスプレイが点灯するまで長押しして電源を入れます。
スタートアップ画面が表示され、起動します。

▶ 画面表示

2 ディスプレイの下部に、
「長押 (メニュー長押)」と表示がある状態で
長押 (左側の選択ボタン)を**長押し**すると、
『メニュー』画面が表示されます。

3 ▼ ▲ (選択ボタン)を押すと、
各メニューを選択することができます。

次に 決定 (決定ボタン)を押すと、
各メニュー画面に切り替わります。

▼

▼

▼

メニュー	内容と対応
空気抜き	注射する前に空気抜きを行うことができます。 “空気抜き”（41ページ）をご参照ください。
注射履歴	注射履歴を確認することができます。 “注射履歴”（43ページ）をご参照ください。
設定内容確認	医療機関で設定された使用製剤、１回投与量、週の投与回数や本体耐用期限を確認することができます。 “設定内容確認”（44ページ）をご参照ください。 （投与量等の設定内容は医師により設定されますので、この画面では設定内容を変更することはできません）
イラスト確認	これまでに完成したイラストを確認することができます。 “イラスト確認”（45ページ）をご参照ください。
注射残り回数	今使っている専用製剤で注射できる残り回数を確認することができます。 “注射残り回数”（46ページ）をご参照ください。
画面設定	背景色や注射後に表示されるイラストを変更することができます。 “画面設定：（1）背景色を変更する場合”（47ページ）、 “画面設定：（2）イラストを変更する場合”（48ページ）をご参照ください。
音設定	注射中のメロディの変更や、鳴らさない設定ができます。 “音設定”（49ページ）をご参照ください。
日時設定	本体の日時設定ができます。 “日時設定”（50ページ）をご参照ください。
投与量変更	医師により投与量変更が有効に設定された場合のみ表示されます。 医師の指示に従ってください。
薬の強制交換	専用製剤に異常が見られる場合等、使用途中の専用製剤を新しい専用製剤に交換するときに行います。 “薬の強制交換”（51ページ）をご参照ください。
戻る	メニュー画面を終了することができます。

4 各メニューを終了するときは、
▼ ▲（選択ボタン）を押して
「戻る」を選択します。

次に 決定（決定ボタン）を押すと
『メニュー』画面に戻ります。
（自動で戻る画面もあります）

▼

5 メニュー操作を終了するときは、
▼ ▲（選択ボタン）を押して
「戻る」を選択し、
決定（決定ボタン）を押します。

▼

■空気抜き

注射する前に、専用製剤内に空気が残っている場合は空気抜きを行うことができます。空気抜きは、専用製剤交換後８回まで行うことができます。（空気抜きを追加で行っても、１本の専用製剤で注射できる量が減ることはありません）

1 『メニュー』画面を表示後、▼ ▲（選択ボタン）で「空気抜き」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

2 『空気抜き』画面に切り替わり、「開始します」と表示されます。
注射針側を上に向けて、専用製剤内の空気が注射針側に集まるように指先で軽くたたきます。

3 本体が動作するまで注射ボタンを**長押し**します。「注射針が出ます」と表示された後「空気抜き中」に切り替わり、注射針が先端ユニットの先端部から出て空気抜きを行います。

▼

空気抜きを行わない場合は、戻る（決定ボタン）を押すと『メニュー』画面に戻ります。

注 意

針刺し事故に十分気を付けてください。

4 空気抜き動作後、自動で『メニュー』画面に戻ります。

こんなとき

表示	内容と対応
▼	空気抜き回数が８回を超えたので、空気抜き動作が停止しました。 ➡ 了解（決定ボタン）を押すと、『メニュー』画面に戻ります。 空気抜き回数が８回を超えても、空気抜きが不十分な場合は、**“グロウジェクトお客様相談窓口”（フリーコール：0800-888-4001）****（62ページ）**までご連絡ください。

■注射履歴

注射履歴を確認することができます。

1 『メニュー』画面表示後、▼ ▲（選択ボタン）で「注射履歴」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

2 『注射履歴』画面に切り替わり、1画面で1ヶ月分の注射履歴を確認することができます。

今日（確認した日）は背景が黄色で表示されています。

注射を行った日は日付が注射マークに替わります。

注射を行わなかった日は背景が灰色で表示されます。

3 ▲（右側の選択ボタン）を押すと前の月の、▼（左側の選択ボタン）を押すと次の月の注射履歴を確認することができます。
（過去6ヶ月分の履歴が残っています）

4 戻る（決定ボタン）を押すと『メニュー』画面に戻ります。

■設定内容確認

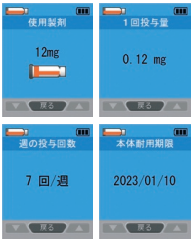
医療機関で設定された使用製剤、１回投与量、週の投与回数、本体耐用期限を確認することができます。
週の投与回数は医療機関の設定により表示されない場合があります。

1 『メニュー』画面表示後、▼ ▲（選択ボタン）で「設定内容確認」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

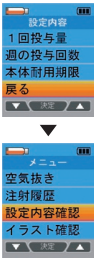
2 『設定内容』画面に切り替わり、「使用製剤」、「１回投与量」、「週の投与回数」、「本体耐用期限」を確認することができます。

3 ▼ ▲（選択ボタン）で確認したい設定内容を選択し、決定（決定ボタン）を押すと、それぞれの設定内容を確認することができます。

各設定内容確認画面で戻る（決定ボタン）を押すと、『設定内容』画面に戻ります。



4 ▼ ▲（選択ボタン）で「戻る」を選択し、決定（決定ボタン）を押すと『メニュー』画面に戻ります。



■イラスト確認

これまでに完成したイラスト（はっぴーダンスや、なかま）を確認することができます。

1 『メニュー』画面表示後、▼ ▲（選択ボタン）で「イラスト確認」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

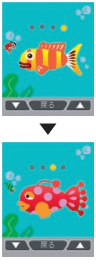
2 これまでに完成したイラストを確認することができます。

完成したイラストがない場合は「なかまをふやそう！」と表示されます。

3 ▼ ▲（選択ボタン）を押すと、次のイラストに切り替わります。

これまでに完成した４回分のイラストを確認することができます。

新しいなかまは、一番古いなかまと交代して加わります。交代した一番古いなかまは再度確認することはできません。



4 戻る（決定ボタン）を押すと、『メニュー』画面に戻ります。

■注射残り回数

今使っている専用製剤で注射できる残り回数を確認することができます。

1 『メニュー』画面表示後、▼ ▲（選択ボタン）で「注射残り回数」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

2 『注射残り回数』画面に切り替わり、「回数」が表示されます。

3 戻る（決定ボタン）を押すと、『メニュー』画面に戻ります。

■画面設定：(1)背景色を変更する場合

背景色を、自分の好みの色に変更することができます。背景色の変更により、電源を入れたときのスタートアップ画面も変更されます。

1 『メニュー』画面表示後、▼ ▲（選択ボタン）で「画面設定」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

2 『画面設定』画面に切り替わります。▼ ▲（選択ボタン）で「背景色設定」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

3 『背景色設定』画面に切り替わり、背景色を選択できる画面が表示されます。

4 ▼ ▲（選択ボタン）で変更したい色を選択し、決定（決定ボタン）を押します。選択した背景色に変更された『画面設定』画面に戻ります。

▼

5 ▼ ▲（選択ボタン）で「戻る」を選択し、決定（決定ボタン）を押すと、『メニュー』画面に戻ります。

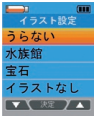
■画面設定：(2) イラストを変更する場合

注射後にイラストを表示したり、変更したりすることができます。

1 『メニュー』画面表示後、▼ ▲（選択ボタン）で「画面設定」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

2 『画面設定』画面に切り替わります。▼ ▲（選択ボタン）で「イラスト設定」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

3 『イラスト設定』画面に切り替わり、イラストを選択できる画面が表示されます。



（イラスト例）

うらない

水族館

宝石

4 ▼ ▲（選択ボタン）で変更したいイラストを選択し、決定（決定ボタン）を押すと、『画面設定』画面に戻ります。

5 ▼ ▲（選択ボタン）で「戻る」を選択し、決定（決定ボタン）を押すと、『メニュー』画面に戻ります。

■音設定

注射中のメロディの変更や、鳴らさない設定ができます。

1 『メニュー』画面表示後、▼ ▲（選択ボタン）で「音設定」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

2 『音設定』画面に切り替わります。
▼ ▲（選択ボタン）で
変更したい項目を選択し、
決定（決定ボタン）を押します。

「メロディ」を選択すると、
さらに曲名が表示されますので、
▼ ▲（選択ボタン）で
変更したいメロディを選択し、
決定（決定ボタン）を押します。

3 音が変更され、『メニュー』画面に戻ります。

■日時設定

グロウジェクターLは日時設定をして工場出荷されています。
日時が大きくずれている場合は、日時の設定ができます。
日時の再設定（変更）をしても、本体の耐用期限や専用製剤の使用期限は変わりません。

1 『メニュー』画面を表示後、▼ ▲（選択ボタン）で「日時設定」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

2 『年設定』画面に切り替わります。
－ ＋（選択ボタン）で年を設定し、決定（決定ボタン）を押します。

3 『月設定』画面に切り替わりますので、年の設定同様に、月を設定します。
以降、日、時、分も同様に設定します。

4 『分設定』画面で決定（決定ボタン）を押すと『日時設定』画面に切り替わり、設定した日時が表示されます。
表示の設定日時でよければ、▼（選択ボタン）で「決定」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

「キャンセル」を選択し、決定（決定ボタン）を押すと、日時は変更されません。

5 日時が変更され、『メニュー』画面に戻ります。

■薬の強制交換

専用製剤に異常が見られる場合等、使用途中の専用製剤を新しい専用製剤に交換するときに行います。

注 意

薬の強制交換の操作を行わずに、新しい専用製剤を取り付けると薬液が漏れ出て、正しい注射を行うことができなくなります。

1 『メニュー』画面を表示後、▼ ▲（選択ボタン）で「薬の強制交換」を選択し、決定（決定ボタン）を押します。

2 『薬の強制交換』画面に切り替わります。
「ピストンを戻しますか？　いいえ　はい」と表示されます。
▼（選択ボタン）で「はい」を選択し、
決定（決定ボタン）を押します。

薬の交換をしない場合は、「いいえ」を選択し、
決定（決定ボタン）を押すと『メニュー』画面に戻ります。

3 再確認画面「本当に戻しますか？
いいえ　はい」が表示されます。
▼（選択ボタン）で「はい」を選択し、
決定（決定ボタン）を押します。

4 「ピストンリセット中　お待ちください」に切り替わり、ピストンのリセットが始まります。

リセット中は先端ユニットと専用製剤を取りはずす等の操作を行わず、そのままお待ちください。

ピストンのリセットが完了したら「針ケースを取付けます」に切り替わります。

5 ディスプレイにしたがって先端ユニットを取りはずします。

取りはずした先端ユニットから注射針と専用製剤を取りはずします。
使用済みの専用製剤と注射針は医師等の指示に従って安全に廃棄します。

本体の電源ボタン ⏻ を押して電源を切ります。

注 意

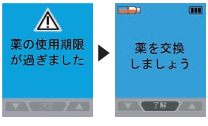
強制交換を行って取りはずした専用製剤は再使用しないでください。

次回注射時

次回注射するときは、**“STEP 1　専用製剤の取り付け”（18ページ）**に戻ります。

専用製剤使用開始後35日が過ぎた場合

専用製剤の使用期限は、専用製剤交換後最初の空気抜きを行った日から35日です。35日を過ぎると電源を入れたときにディスプレイに「薬の使用期限が過ぎました」と表示されますので、以下の手順で専用製剤を取りはずしてください。



1 ディスプレイに「薬の使用期限が過ぎました」と表示された後、「薬を交換しましょう」に切り替わります。

2 了解（決定ボタン）を押すと、「ピストンリセット中　お待ちください」に切り替わります。
リセット中は先端ユニットと専用製剤を取りはずさず、そのままお待ちください。

3 専用製剤が取りはずし可能な状態になると、「針ケースを取付けます」に切り替わります。

4 ディスプレイにしたがって先端ユニットを取りはずします。

取りはずした先端ユニットから注射針と専用製剤を取りはずします。
使用済みの専用製剤と注射針は医師等の指示に従って安全に廃棄します。

本体の電源ボタン ⏻ を押して電源を切ります。

注 意

使用開始後35日を過ぎて取りはずした専用製剤は再使用しないでください。

次回注射時

次回注射するときは、**“STEP 1　専用製剤の取り付け”（18ページ）**に戻ります。

その他

■保守・点検方法

ご使用の前後には、グロウジェクターLや専用充電台の点検を行ってください。

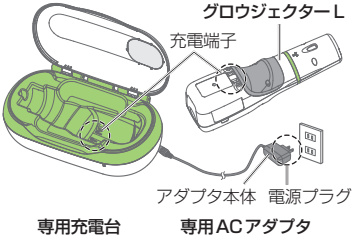
●日常点検

①使用前：外観を確認し、汚れや破損がないか確認してください。
②使用中：正常に動作をしているか確認してください。
③使用後：次回に備えて、汚れや破損がないか確認してください。

●診察時

投与量設定確認や変更を医師が行うため、グロウジェクターLを必ず医療機関に持参してください。

■お手入れ方法



●普段のお手入れ

グロウジェクターLの外側と専用充電台を、乾いたやわらかい布で拭いてください。

●月に一度のお手入れ

グロウジェクターL及び専用充電台の充電端子を、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
（汚れていると充電できなかったり、充電時間が長くなったりします）
専用ACアダプタの電源プラグも、乾いたやわらかい布で拭いてください。

●汚れがひどいとき

汚れがひどい場合は、やわらかい布に、水または薄めた中性洗剤をしみこませ、よく絞った状態で拭いてください。

●次のものは使わない

石油/みがき粉/シンナー/ベンジン/ワックス/熱湯/せっけん等を使うと、変色・変質等のおそれがあります。

注 意

- **本体の電源を切ってからお手入れを行ってください。**
- **アダプタ本体を、コンセントから抜いてお手入れを行ってください。**
- **布が充電端子にひっかかったときは、無理に引っ張らないでください。（充電端子が変形すると充電できないおそれがあります）**
- **ピストンを無理に押したり、本体を分解したりしないでください。**
- **洗浄や消毒のために、水洗いをしたり、消毒薬等の液体に浸したりしないでください。**

■保管方法

●使用後は必ず充電してから清潔な場所に保管してください。
●使用していない専用製剤は包装箱に入れたままの状態で、冷蔵庫の凍結しない場所に保存してください。
●注射後の専用製剤は、注射針を取りはずした後、先端ユニットに入れたまま冷蔵保存ケースに入れて、冷蔵庫の凍結しない場所に保存してください。
●グロウジェクター Lの本体は、専用充電台にセットして、一般的な生活環境（温度：10 ℃～40 ℃、但し10 ℃～35 ℃以外では充電できません）の、清潔な場所に保管してください。直射日光の当たる場所や車内等の高温になるおそれのある場所、冷蔵庫や凍結するおそれのある低温の場所、ほこりや湯気が当たる場所には保管しないでください。
●子供や他の人の手の届かない場所に保管してください。

注 意

先端ユニットに注射針を取り付けたまま保存しないでください。

■耐用期間及び廃棄に関して

●グロウジェクター Lの耐用期間は、医療機関で行った初回設定の日から３年です。交換時期が近づいて来ましたら医師に相談してください。
●耐用期間が過ぎた場合や、使用を中止する場合は、専用充電台や専用ACアダプタ等を含むグロウジェクター L一式を医療機関に返却する等、医師等の指示に従ってください。
●使用済みの注射針、消毒用アルコール綿及び専用製剤は、医師等の指示に従って、安全に廃棄してください。

⚠ 危 険

グロウジェクターLにはリチウムイオン電池を内蔵しています。誤って火の中へ投入したり、加熱したりすると、発熱・発火・破裂の原因となります。

お知らせ表示一覧

お知らせ内容やエラーが発生した場合に、ディスプレイにその内容が表示されます。「内容と対応」を確認し操作してください。

注 意

先端ユニットに注射針が取り付けられている場合は、針刺し事故に十分気を付け、針ケースを取り付けてから行ってください。

表示	内容と対応
薬の 装着を確認 しましょう	先端ユニットに専用製剤が正しく取り付けられていません。 ➡ 再度取り付け直してください。 注射針が取り付けられている場合は、針ケースが取り付けられていることを確認してから、操作を行ってください。
先端ユニット の装着を確認 しましょう	先端ユニットが正しく取り付けられていません。 ➡ 再度取り付け直してください。
充電不足です	充電不足です。 ➡ 電源ボタン⏻を押して電源を切った後、**“グロウジェクター Lの充電方法”（16ページ）**をご参照のうえ、ただちに専用充電台にセットして充電してください。充電不足のときは電源ボタン⏻のみ使用でき、注射操作はできません。
注射針を確認 しましょう	注射針の針つまりや、注射針が正しく取り付けられていない可能性があります。 ➡ 完了（決定ボタン）を押した後、**“STEP 5 注射が終わったら”（29ページ）**をご参照のうえ、注射針を取りはずし、新しい注射針に交換して、再度行ってください。
これ以上は 空気抜きが できません	空気抜き回数が８回を超えたので、空気抜き動作が停止しました。 ➡ 了解（決定ボタン）を押すと、ディスプレイが「薬の準備が終わりました」または『メニュー』画面に切り替わります。 空気抜き回数が８回を超えても、空気抜きが不十分な場合は、**“グロウジェクトお客様相談窓口”（62ページ）**までご連絡ください。
警告<注射針> 注射針が戻り ませんでした	空気抜き時に、正常に注射針が出ませんでした。 ➡ 了解（決定ボタン）を押した後、電源ボタン⏻を押して電源を切ると解除されます。電源を入れ直し、再度空気抜きを行ってください。
	正常に注射針が戻りませんでした。 ➡ 了解（決定ボタン）を押すと「お待ちください」に切り替わります。 電源ボタン⏻を押して電源を切った後、もう一度電源ボタン⏻を押して注射針が正常な位置に戻ったことを確認します。 空気抜き時の場合、空気抜きは完了していますので **“STEP 4 注射”（26ページ）**に進みます。空気抜きが不十分な場合は**“メニュー操作(空気抜き)”（41ページ）**をご参照のうえ、空気抜きを行ってください。

表示	内容と対応
⚠ ピストンを確認しましょう 完了	正常にピストンのリセットが完了しませんでした。 ➡ ピストン周辺にゴミなどが挟まっていないか確認してください。 完了（決定ボタン）を押すと、ピストンのリセットが再開します。
⚠ 正常に注射針が刺さりませんでした 了解	正常に注射針が刺さりませんでした。 ➡ 了解（決定ボタン）を押した後、電源ボタン ⏻ を押して電源を切ると解除されます。薬液は出ていませんので、針ケースや針キャップが取り付けられたままになっていないか等を確認し、再度操作を行ってください。
⚠ 警告<注射針> 注射針が抜けませんでした 了解	正常に注射針が抜けませんでした。 ➡ 本体を注射部位からゆっくり離してください。このとき先端ユニットの先端部から針先が出ていますので、針刺し事故に十分気を付けて以下の操作を行います。 了解（決定ボタン）を押すと、「お待ちください」に切り替わります。電源ボタン ⏻ を押して電源を切った後、もう一度電源ボタン ⏻ を押して注射針が正常な位置に戻ったことを確認します。その後電源を切り、注射針を取りはずしてください。
⚠ 薬の使用期限が過ぎました	専用製剤の使用期限は、専用製剤交換後最初の空気抜きを行った日から35日です。 ➡ 専用製剤の残量にかかわらず、**“専用製剤使用開始後35日が過ぎた場合”（53ページ）**をご参照のうえ、新しい専用製剤に交換してください。
⚠ 本体期限が近づいてきています	グロウジェクター L の耐用期間は使用開始から３年間です。 残りの期間が３ヶ月以下になると、電源を入れるたびに表示されます。 ➡ 通常どおり使用できますが、耐用期間内に交換できるように医師に連絡し、期限内に新しいグロウジェクター L に交換してください。
⚠ 本体期限まであと30日です	グロウジェクター L の耐用期間は使用開始から３年間です。 残りの期間が１ヶ月以下になると、電源を入れるたびに表示されます。 ➡ 通常どおり使用できますが、耐用期間内に交換できるように医師に連絡し、期限内に新しいグロウジェクター L に交換してください。
⚠ 本体期限が過ぎました 了解	グロウジェクター L の耐用期間が終了していますので、電源が入っても使用することはできません。 ➡ ただちに医師に連絡し、新しいグロウジェクター L に交換してください。
⚠ 本体異常です 使えません 了解	注射動作が正常に行われない状態になっていて、使用することができません。

正しく操作しても動作しない場合は、**“グロウジェクトお客様相談窓口”（フリーコール：0800-888-4001）（62ページ）**までご連絡ください。

注射部位の選び方（参考）

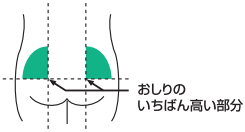
※注射部位は医師等の指示に従ってください。

●皮下注射をする場所としてふさわしいのは、おしりあるいは太ももの前面です。

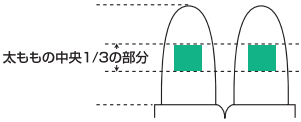
●お子さんが小さくて家族の方が注射する場合には、おしりが良いでしょう。自分でするときは、太ももの前面にします。

●注射をする部位は注射のたびに変えてください。今日右側にしたら、次は左側にするようにします。忘れないように、記録しておきましょう。

おしり（子供をうつぶせにして注射します）　■ **注射部位**



太もも（いすに座って注射します）　■ **注射部位**



グロウジェクターLについてのQ&A

グロウジェクターLの操作中、困ったときにご参照ください。
ディスプレイにお知らせ表示があるときは、“お知らせ表示一覧”(56ページ)をご参照ください。
また正しく操作しても正常に動作しない場合は、“グロウジェクトお客様相談窓口”(フリーコール：0800-888-4001)(62ページ)までご連絡ください。

Q.1

本体の電源ボタン を、長押ししたが電源が入らない。

A.1

充電が十分でない可能性があります。
“グロウジェクターLの充電方法”(16ページ)をご参照のうえ、本体を専用充電台に正しくセットしてください。
このときに、本体ランプが点灯（黄緑色）していることを必ず確認してください。

Q.2

専用充電台をコンセントに接続したが、専用充電台の電源ランプがつかない。

A.2

“グロウジェクターLの充電方法”(16ページ)をご参照のうえ、接続方法を確認し、専用充電台の電源ランプが点灯（黄緑色）していることを確認してください。

Q.3

専用充電台にセットしても、本体の本体ランプが点灯しない。または、点灯してもすぐに消えてしまう。

A.3

本体ランプは、満充電の状態のときには消灯します。満充電ではなく本体ランプが点灯しない場合は、本体と専用充電台の充電端子が汚れている可能性があります。
“お手入れ方法”(54ページ)をご参照のうえ、それぞれの充電端子を拭き、再度充電してください。

Q.4

「これ以上は空気抜きができません」と表示されるまで空気抜きの操作を行ったが、空気がまだたくさん残っている。

A.4

残っている空気が小さな気泡であれば、気にすることはありません。そのまま使用してください

グロウジェクターLの操作中、困ったときにご参照ください。
ディスプレイにお知らせ表示があるときは、**“お知らせ表示一覧”（56ページ）**をご参照ください。
また正しく操作しても正常に動作しない場合は、**“グロウジェクトお客様相談窓口”（フリーコール：0800-888-4001）（62ページ）**までご連絡ください。

Q.5
空気抜き時に注射ボタン を長押ししたが、注射針から薬液が出ない。

A.5
専用製剤の中にある空気が多く、1回の空気抜きで空気が抜けきれていない可能性があります。針先から薬液が出るまで、再度空気抜きを行ってください。

注射針の針つまりなどの可能性があります。繰り返し空気抜きを行っても針先から薬液が出ない場合は、注射針を交換してください。

Q.6
先端ユニットが、本体からはずれない。

A.6
先端ユニットをはずすときに、先端ユニットが止まるまで回していますか？
➡ **“STEP 5 注射が終わったら”手順3（29ページ）**をご参照のうえ、先端ユニットを取りはずしてください。

Q.7
専用製剤内の、薬液残量を確認する方法はあるのか？

A.7
本体ディスプレイの左上に表示されている製剤マークで、おおよその薬液残量を確認することができます。

メニュー操作の『注射残り回数』画面で残り回数を確認することができます。

Q.8
注射が正常にできない。

A.8
注射針に異常はありませんか？
➡ 新しい注射針に交換してください。

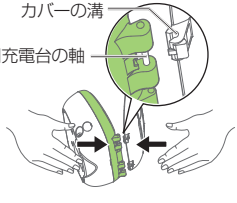
専用製剤は、先端ユニットに正しく取り付けられていますか？
➡ **“STEP 1 専用製剤の取り付け”手順4及び手順5（19ページ）**をご参照のうえ、操作を確認してください。

注射針は、先端ユニットに正しく取り付けられていますか？
➡ **“STEP 2 先端ユニットの取り付け”（20ページ）**をご参照のうえ、操作を確認してください。

先端ユニットは、本体に正しく取り付けられていますか？
➡ **“STEP 2 先端ユニットの取り付け”手順5（21ページ）**をご参照のうえ、操作を確認してください。

Q.9
専用充電台のカバーがはずれてしまった。

A.9
図のように、専用充電台のカバーを少し開いた状態で（カバーの接続部の溝が、専用充電台の軸を向くようにして）押すと、元に戻ります。



Q.10
専用製剤を本体にセットしたまま、落としてしまった。

A.10
破損または動作に問題がある場合は、
“グロウジェクトお客様相談窓口”（フリーコール：0800-888-4001）（62ページ）
までご連絡ください。

Q.11
ディスプレイに「本体異常です使えません」が表示されている。

A.11
本体に異常があります。使用することはできません。
“グロウジェクトお客様相談窓口”（フリーコール：0800-888-4001）（62ページ）
までご連絡ください。

グロウジェクトお客様相談窓口

製品に対するお問い合わせや異常時は、下記グロウジェクトお客様相談窓口にご連絡ください。

グロウジェクトお客様相談窓口

フリーコール 0800-888-4001

携帯電話からの通話もできます。

病気やお薬に関するご質問は、医師や薬剤師の先生方にご相談ください。

仕様

■仕様

電源	グロウジェクター L	内部電源機器：直流3.7 V　325 mAh （充電池：リチウムイオン二次電池）
	専用ACアダプタ	国内専用： 入力　交流 100 V　50/60 Hz　12 VA 出力　直流 5.0 V　1.0 A
形状及び寸法	グロウジェクター L	W 46 mm × D 50 mm × L 168 mm
	専用ACアダプタ（DCコード）	W 27 mm × D 39 mm × L 61 mm L 1 830 mm
	専用充電台	W 96 mm × D 69 mm × L 180 mm
質量	グロウジェクター L	170 g
	専用ACアダプタ	62 g
	専用充電台	200 g
使用/充電/保管時の環境条件（開梱後）		温度：10 ℃～ 40 ℃ （但し充電時：10 ℃～ 35 ℃） 湿度：30 % RH ～ 80 % RH （但し結露しないこと） 気圧：700 hPa ～ 1060 hPa
輸送/保管時の環境状況（梱包状態）		温度：0 ℃～ 50 ℃ 湿度：10 % RH ～ 80 % RH （但し結露しないこと）

■使用している記号の説明

記号	説明	使用場所
	B形装着部	グロウジェクター L（先端ユニット）
	JCRファーマ㈱商標着脱可能な部品	グロウジェクター L（先端ユニット）
	クラスⅡ機器	専用ACアダプタ
	屋内使用専用	専用ACアダプタ
	警告	グロウジェクター L（ディスプレイに表示）
	注意	
	取扱説明書確認	専用充電台
危険 警告 注意	誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度の区分	取扱説明書（本書）

グロウジェクトお客様相談窓口

フリーコール 0800-888-4001

携帯電話からの通話もできます。

病気やお薬に関するご質問は、医師や薬剤師の先生方にご相談ください。

製造販売元

PHC株式会社

〒105-8433　東京都港区西新橋2-38-5

© PHC Corporation 2016-2020

販売元

JCRファーマ 株式会社

〒659-0021　兵庫県芦屋市春日町 3-19

取扱説明書品番：LDCL005700-4
S0616-4100

LDCL005700-4